

～阪神・淡路大震災から29年～1.17ひょうご安全の日のつどいに参加

1月17日、神戸市中央区のHAT神戸他で「ひょうご安全の日のつどい」が開催されました。兵庫県支部は、なぎさ公園での地域赤十字奉仕団による炊き出しとdERUテントを設営し、なぎさ中学校と兵庫県立舞子高等学校の生徒を対象に救急法講習を実施しました。炊き出しでは300食を用意しましたが、多くの方が列を作り、30分程度でなくなるなど大変好評でした。講習では、多くの生徒が初めてふれる講習人形やAEDトレーナーに苦勞していましたが、救急法指導員からのアドバイスを受け、一生懸命に取り組んでいる姿が見られました。阪神・淡路大震災から29年目を迎えましたが、これからも「忘れない」「伝える」「活かす」「備える」ことを意識し、より一層防災・減災に取り組んでいきます。



「NHK海外たすけあい」へのご協力ありがとうございました!

12月1日から25日まで「NHK海外たすけあい」キャンペーンを実施しました。第41回目となる今回はコーポレートスローガンである「人間を救うのは、人間だ。」を土台に据え展開し、兵庫県赤十字奉仕団や兵庫県日赤有功会の皆さまをはじめ、青少年赤十字加盟校やNHK神戸放送局窓口などからもたくさんのご協力をいただきました。12月26日には、兵庫県赤十字奉仕団の友藤富士子委員長から集めた募金を齋藤支部長へ手渡しました。ご協力いただいた募金は、日本赤十字社が支援している国際活動に使わせていただきます。



〈ご協力いただいた募金のご報告〉

兵庫県赤十字奉仕団	641,500円
兵庫県日赤有功会	3,792,000円
青少年赤十字加盟校	59,022円
地区分区、その他	244,888円
NHK神戸放送局	134,690円
兵庫県支部・施設	488,840円
合計	5,360,940円

いのちと健康を守る赤十字活動は
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています。
活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からご協力いただけます
口座記号番号:01110-0-1136
口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部
※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。

講習会のご案内

対面での講習会のご案内

赤十字基礎講習 (1日の講習)	4月28日(日) 13:00～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階 5月25日(土) 10:30～16:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部災害救護支援センター(三木市)
救急法救急員養成講習 (2日間の講習)	5月18日(土)・19日(日) 9:30～17:30 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
救急法基礎・救急員養成講習 (3日間の講習)	5月3日(金)・4日(土)・5日(日) 9:30～17:30(初日は13:00～17:30) 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
幼児安全法支援員養成講習 (2日間の講習)	5月11日(土)・12日(日) 9:30～17:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階
健康生活支援講習支援員養成講習 (2日間の講習)	4月13日(土)・14日(日) 9:30～16:00 会場:日本赤十字社兵庫県支部7階

※申込期日は開催日(初日)の1ヵ月前までです。

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

講習内容	開催日	時間
今、考えようよ自分の健康☆	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	3月19日(火) 10:30～11:30
知っておきたい!急病・手当の基本☆	【救急法】急病の手当	3月19日(火) 14:00～15:00
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	3月26日(火) 10:30～11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置	3月26日(火) 14:00～15:00
ちょっと知ってみたい。認知症 ☆	【健康生活支援講習】地域で支える認知症	4月10日(水) 10:30～11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置	4月10日(水) 14:00～15:00
みんなで学ぼう!応急手当	【救急法】きずの手当	4月18日(木) 10:30～11:30
今、考えようよ自分の健康☆	【健康生活支援講習】健康な高齢者をめざして	4月18日(木) 14:00～15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。企業や各種団体でもオンライン講習にお申込みいただけます。上記日程以外でも開催することができますので、当支部救護課講習係にご連絡いただき、社内研修等にご活用ください。

講習についての最新情報は、ホームページにて随時発信しています。ホームページにてご確認ください。お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

講習に関するお問い合わせ **Tel.078-241-1499**
ホームページ(講習のページ) <https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/>

遺言・相続財産・お香典でのご協力について

「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出が増えています。日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。お問い合わせは ☎0120-078-456(振興課)まで

※隔月(奇数月)に発行しています。

日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号 TEL.078-241-9889 FAX.078-241-6990

赤十字 兵庫 検索 <https://www.hyogo.jrc.or.jp/>

ひょうごの赤十字 3月号 [2024年3月1日発行]

ひょうごの赤十字+

2024
3

能登半島地震、兵庫県支部の活動



- 令和6年能登半島地震 医療救護班を石川県に派遣!
- 令和6年能登半島地震 救護活動に携わって
- 明石市赤十字奉仕団18年ぶりの再結成
- 姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ絵本等を寄贈
- 令和5年度第2回評議員会を開催
- ～阪神・淡路大震災から29年～1.17ひょうご安全の日のつどいに参加
- 「NHK海外たすけあい」へのご協力ありがとうございました!



■ ホームページ
<https://www.hyogo.jrc.or.jp/>
■ インスタグラム
https://www.instagram.com/nisseki_hyogo/
■ Facebook
<https://www.facebook.com/nisseki.hyogo/>



令和6年能登半島地震 医療救護班を石川県に派遣!

令和6年元日に発生した「能登半島地震」において、日本赤十字社は、発災直後から能登半島での医療救護活動や救援物資の配付などを実施しました。

兵庫県支部においても、1月10日から医療救護班を被災地に派遣し、巡回診療を中心に被災された方々の診療や健康管理などにあたっています。また、被災地での医療ニーズ等の調整を行うため、日赤災害医療コーディネイトチームも派遣しています。

これからも被災された方々への継続的な支援を続けてまいります。

救護班派遣状況(2月21日現在)

派遣期間	派遣施設	派遣期間	派遣施設
1月10日~1月14日	神戸赤十字病院	2月2日~2月6日	多可・神戸赤十字病院
1月13日~1月17日	姫路赤十字病院	2月6日~2月10日	姫路赤十字病院
1月18日~1月22日	神戸赤十字病院	2月12日~2月16日	神戸赤十字病院
1月25日~1月29日	姫路赤十字病院	2月17日~2月21日	姫路・多可赤十字病院
1月28日~2月1日	神戸赤十字病院		

日赤災害医療コーディネイトチーム派遣状況(2月21日現在)

派遣期間	派遣施設	派遣期間	派遣施設
1月20日~1月24日	神戸赤十字病院	2月8日~2月14日	神戸赤十字病院
1月29日~2月2日	姫路赤十字病院		



▲被災地に向け出発する救護班



▲避難所に向かう日赤車両



▲救護所で診療する救護班



▲避難所で被災者の応急手当を行う救護班

令和6年能登半島地震 救護活動に携わって

神戸赤十字病院 内科副部長 兼 ER・総合診療センター長 佐藤 淳哉

能登半島地震において、私達は兵庫県支部救護班第1班として1月10~14日まで輪島市に派遣されました。発災直後の混乱と不安定な天候の中、医療救護や心のケア、救援物資の配布を通じて被災者を支援し、災害関連死を防ぐことが使命でした。水道が復旧しない中、大屋小学校の保健室で救護所を展開し、近隣施設の巡回診療も行いました。診療は上気道症状、外傷が主で避難者は会話の中で涙する瞬間もありました。自衛隊ヘリで孤立集落の患者搬送ミッションも行いました。活動は5日間でしたが、日赤の特筆すべき点は、この支援を被災地が必要とする限り展開し続ける、他団体には類をみない圧倒的な規模と団結力です。29年前自分も被災した阪神・淡路大震災と同じ1月でした。当時、優しかった人々の事を沢山思い出し、今年は1.17の集いに参加しました。わが子が灯籠に「命を大切に」と書いた姿に感慨深く、世代を超え復興した神戸の姿を見ながら「ともに」能登の復興を願いました。



姫路赤十字病院 看護師長 小川 和則

1月13~17日までの間、石川県輪島市へ救護活動に行かせていただきました。主な活動は、避難所での診療と環境調整でした。避難所でのコロナやインフルエンザが流行している中での感染症対策の難しさを実感しました。輪島市へ行って感じたことは、全体像が見えないことや家屋の倒壊、火事など阪神・淡路大震災に似ているところです。当時私は神戸市須磨区に住んでいました。家は無事でしたが、町並みは一変しており、夜が明けて雪だと思ったら灰が降ってきた光景は今でも覚えています。阪神淡路大震災からの復興を目指し現在があるのは、住民の努力だけでなく、多くの支援があったからです。これから求められるこのケアだけでなく、能登半島地震での復興のために、「ともに」という想いを持ち続け、自分ができる支援について考えていきたいと思えます。



日本赤十字社兵庫県支部 救護課主事 小松 祐太

石川県輪島市に到着し、元日からテレビやニュースで見続けていた光景が目の前にあることに、当たり前のことながら衝撃を受けました。家が傾き、潰れ、道路にはひびが入り、陥没していました。私たち救護班の活動内容は、避難所となった小学校の救護所運営、巡回診療、アセスメント、患者搬送、等々でした。寒さや、余震、断水など、大変なことは多くありましたが、自分たちは数日間の活動を終えると、環境の整った日常生活に戻ってしまうということ、避難者の方々から感謝の言葉をいただくことに、どうしても後ろめたさを感じました。活動中、少しでも自分たちに出来ることをしようという思いで活動していましたが、結果的にそれが正しかったのかはわかりません。限られた時間ではありましたが、被災地に私たちがいて、少しでも誰かの支えになり、お役に立てていれればと願っています。



明石市赤十字奉仕団18年ぶりの再結成

令和5年12月25日(月)、明石市役所において明石市赤十字奉仕団結成式を行いました。丸谷明石市地区長(明石市長)から奉仕団旗を授与された三木委員長は、「18人からのスタートになりますが、苦しんでいる人を救う活動に取り組みたい。」と力強く述べられました。



▲三木委員長挨拶



▲奉仕団を支えていただく皆さま

姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ絵本等を寄贈

1月9日(火)、姫路市赤十字奉仕団から姫路赤十字病院小児病棟へ、絵本やぬり絵、文房具などが寄贈されました。これは姫路市赤十字奉仕団の、子どもたちのための奉仕活動の一環で、昨年に続き2回目の寄贈となります。岩田稔恵委員長(写真①左端)は、「これだったら喜んでもらえるかなと想像しながら選びました。少しでも子どもたちの癒しになればと願っています。」と岡田裕之院長(写真①右から2番目)に手渡しました。岡田院長は、「昨年に引き続き、大変ありがたく思っております。子どもたちに代わってお礼申しあげます。能登半島地震災害には日赤一丸となって対応しており、姫路赤十字病院からも救護班を派遣します。現地は非常に厳しい状況ですが、赤十字として頑張りたい。」と話しました。



①贈呈式の様子



②絵本を手にとる子どもたち

令和5年度第2回評議員会を開催

2月19日、令和5年度第2回評議員会を開催し、山下副支部長が「令和6年元日に発生した能登半島地震において、日本赤十字社では、発災後直ちに全国各支部から医療救護班を被災地に派遣し、現在も救護活動を行っています。令和5年度も、皆さまからご協力いただいた活動資金で『いのちと健康を守る』事業を円滑に進めることができました。皆様のご支援のもと、医療体制の維持、献血供給量の確保、災害訓練の実施など、日々の業務に励んでおります。これからも皆様のご期待に沿えるよう尽くしてまいりますので、兵庫県支部の活動にご理解とご支援をお願いいたします。」と、挨拶。その後、大久保事務局長から能登半島地震の活動報告と令和5年度事業報告があり、令和6年度事業計画と歳入歳出予算について審議が行われ、評議員の皆さまに承認いただきました。